



読字 故 原 田 親

No. 782

2015/ 11/25

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0033 東京都文京区  
本郷1-1-15 1F 2C13室

日中友好協会  
岡山支部  
〒710-8256  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:086(272)-3016  
郵便番号119番  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8511  
倉敷市連島中央1-8-4  
(宮地方)  
TEL:FAK086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 64大会期

### 第1回理事会の報告

11月14、15日標記の会に参加しました。全国理事の小林さんの代理参加です。倉敷支部のとりくみが理事会議案で紹介されていたにもかかわらず、岡山支部理事の私はその事実を知らずに参加していました。悔やまれます。

紙面の関係上、わずかしか書けません。以下報告します。

このとりくみが、戦争法させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の呼びかけで、全国的に進められています。日中友好協会は、この総がかり行動実行委員会に加わっている戦争する国づくりにストップ！憲法を守り、いかに共同センター（略称・憲法共同センター）」の一員だとのこと。

署名の2000万の根拠は、この間の国政選挙での投票者の数の半数に迫るものであり、同時にこの間、自民党の得票が1700万〜1800万票であったことからすれば、第一党となる数であるということだそう。戦争法は日中問題ととらえるべきであることも強調されました。

### 日中も加害の問題に向き合おう

戦後70年の不再戦平和友好期間の各地のとりくみは、日本軍の加害についての内容が多く取り上げられています。日中も加害の問題にしっかりと向き合っていこうという合意がなされました。

### 第三回百科検定は再来年三月に実施

受験者が目標を大きく下回

り、また赤字をかかえしました。宣伝不足、とりくみ不足、初めてとりくむところへの中央の援助も不十分であったのではないかと、この検定の、日中友好に果たす役割は大きく、続けていけるようやろう、というのが大勢。東京など、事前学習運動が効果を発揮、組織の拡大にもつながった、と。出題に関わっておられる大西広さんに、中国百科公式テキストの漢字にフリガナをと、お願いしましたが、ルビ、ウルムチなど漢字でないほうがいいものもあるし、このテキストを売り切らないと改訂版は作れないが、検討はしたいということ。すぐにはできない感じでした。第3回百科検定は2017年3月実施に決まりました。

### 組織拡大の課題

64大会から半期後の今、大会時を下回る現勢での特徴は、大きな組織が減らしていることでした。連合会・支部の年齢構成調査も予定されています。望郷の鐘」、15歳の夏」上映会や、慰安婦」学習会、平和のための戦争

### 機関紙は来年一月五日号からタブロイド判へ

六四大会では、機関紙の月3回は堅持しよう、そのためには会員、準会員を増やすことが前提だが、状況によっては通常号を六ページ、四ページにするなどの検討も必要にな

## 大森久雄さんを偲ぶつどい —中国をこよなく愛した大人—

11月14日(土)、倉敷労働会館で実行委員会主催の天森久雄さんを偲ぶつどい」が、54人の参加で開催されました。

参加者は、遺族、地元友人、歴史教育協議会、岡山人権研究センター、日中友好協会倉敷支部・岡山支部、元同僚の高校教師などです。司会は、小山博通さんが担当し、最初に故人に黙とうをささげました。実行委員会を代表して宇野忠義さんが、3

展」、長谷川テル」朗読劇などのとりくみは拡大のチャンスということ。

二日目、中野晃一・上智大教授の講演は、シルルズの若者とオールド(我々大人たち)の運動を斬新な切り口で解明し、聴衆を勇気づけてくれるものでした。

(曾田)

年近くの闘病生活および年譜と著作をもとに経歴を紹介しました。栗本泰治さんが献杯の音頭を取りました。各テーブルでは、故人を偲んで話が弾みました。

各界の代表11人が故人とのかかわりについて語りました。日中岡山支部を代表して竹内理事長が、2005年、倉敷支部結成のため故人宅を尋ね、支部長を引き受けてほしい」とお願いすると、即座に「わかりました」と快く了承し

てくださり、ほっとした。」と思いを話しました。他の人々も故人の人柄や業績がよくわかるすばらしい内容でした。

つどいも終わりに近づき、故人が愛唱した田端義夫の「かえり船」を平井昭夫さんの先導で歌いました。奥さんの大森保子さんからお礼の言葉がありました。閉会のあいさつで正保宏文さんが、大森先生の遺志をついで、憲法九条を破壊する「戦争法」の廃止と日中友好運動の前進のために、一緒にがんばろうと述べました。

なお、会場には大森先生の著作・翻訳本、中国旅行で撮った写真及び野球部の顧問であった関係から愛用のバットなどが展示されていました。

最後に、中国の友人である曹陽さんの、大森保子さんあての手紙と日中倉敷支部副理事長大本芳子さんのあいさつを次のページで紹介いたします。

小林軍治



竹内理事長



# 地方史研究家 大森久雄氏を偲ぶつどい

昨年11月、お亡くなりになった大森久雄氏を偲ぶ会が、去る11月14日に開かれました。氏は高校教諭のかたわら、地方史の調査研究や、翻訳にも精力的に取り組んできました。

氏は、県内や全国の研究会にも参加し、「尺権」「民主主義」「民族問題」「民主教育のあり方」について調査研究と報告を積み上げ、運動を育てることに尽力されました。また社会教育や市民運動にも骨身を惜しまず取り組み、倉敷9条の会呼びかけ人、日中友好協会倉敷支部支部長などをつとめられました。

また、倉敷市伝統的建造物群等保存審議会委員、『新修倉敷市史』編纂など倉敷市の文化を守り発展させるためにも尽力されました。

私は、日中友好協会倉敷支部を代表してお別れの言葉をのべました。



## 大森久雄さんをしのぶ集いの挨拶

ご紹介いただきました、日中友好協会倉敷支部の大本芳子です。大森久雄さんは日中友好協会倉敷支部の初代支部長さんでした。先生はそのおおらかなお人柄で生まれながらの支部のななめとして頑張つてこられました。

とりわけ支部の中国を知る旅では、その経験を生かされいつも素晴らしい企画をされました。先生は、特に魯迅に造詣が深く魯迅に関するいろいろなところへもご案内いただき支部の「中国の旅」を一層奥深いものにしていただきました。

先生は「尺権」「民主主義」「民族問題」についての調査研究家らしく何処へ行かれてもしっかりと観察されていきました。たとえば機内食はその都度スケッチされます。街の様子・住む人々のいろいろな姿を綿密にスケッチされていきました。さて、いま安倍政権が「戦争法」を通すためふりかまわす展開している「中国脅威論」ですが、これを打ち破るためには「隣国中国の本当の姿」をもっともつと国民の中に広げていかななくてはなりません。まさに日中友好運動の出番です。そういう時に中国通の先生を失ったことは誠に残念です。もつともつと勉強させていただきますかと思ひます。

## 大森保子さんへの手紙

大森保子さま  
ご無沙汰しております。お元氣ですか。

このたび、大森先生を偲ぶ会がおこなわれることを知りました。先生が亡くなられて、早くも一年になります。先生のことを忘れられません。時々、先生の沈静な笑顔が浮かびます。

2004年に初めて大森先生と出会いました。中国の歴史文化にあまりに詳しい先生の博学に感服しました。そしていつも目の間近に本を寄せて読みながら、結構、結構！と賛嘆されている様子は、学生時代から惚れて想像した魯迅先生と雰囲気は何とそっくりでした。同じ魯迅先生が好きなのか！私の気が合う日本のわが先生だ、と。多分先生も私を中国に居る忘年の友にしてくださいさうだろうと、思っています。

10年もの長い間に、中国へ毎年一回、多い時は二回も来られました。今振り返れば中国のいろんなところへ、中国人でもなかなか全部は行けないところにも先生は行かれましたね。倉敷日中の皆様と魯迅先生ゆかりの地へは何回も、そして個人旅行で司馬遷のお墓の韓城、広州、桂林、雲岡石窟、最後天水の旅まで、一緒に過ごした日々はいつまで



2006.11.7 韓城にて

も忘れられません。私の人生において、先生の旅のお供ができたことはとても幸運だったと思います。

ところで、お知らせして頂いた11月14日前後の私は、仕事が入っていて、日本へは行くことができませんが、14日だけではなく、いつまでも先生を偲びたいと思っています。

ご遺影を飾る花束一つを大森先生にささげたいと思います。

また、大森先生が以前書かれた本を奥様に郵送していただきありがとうございました。本当にありがとうございました。

またの機会に奥様にお会いしたいと思っております。お元氣でお過ごしください。では、また。

2015年11月10日  
曹陽より

次回の新聞発送作業は  
12月1日(火)午後1時半から  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

葉岡井林田和  
稲今河小真竹内  
坪井